

安城農林高校 農業科

1 農業科とは

農業科では、主に露地（外の畑）で作る野菜やお米の栽培方法を中心とした農業に関する知識・技術を学びます。その中で、農業の意義や役割を理解し、広く農業の発展に寄与する技術者を目指します。

また、1年次は「農業科」と「園芸科」が共通の学習内容ですが、2年次からそれぞれの学科に分かれて、より専門的な知識や技術を学びます。

2 類型（コース）と専攻の選択について

農業科では2年生になると「生物生産類型」と「流通経済類型」の類型に分かれます。そのため、2年生に進級すると、選択する類型によって学習する科目が異なります。

◎生物生産類型：作物や野菜を栽培するのに必要な知識や技術を中心に学びます。

◎流通経済類型：農産物の生産だけでなく、安農マーケットを通して消費者に届くまでの流過程を学びます。

※安農マーケットとは？

校内で定期的に販売所を開設して、生産した農産物の販売を行っています。販売物の陳列やポップの作成、レジ打ちなど、授業内で実際の販売を体験する中で、農産物の流通について学ぶことができます。



【安農マーケットでの販売実習】

3 主な授業内容（専門科目）

- ・農業と環境（1年）：トウモロコシやスイカ、ダイコンなど様々な野菜の栽培をとおして農業に関する基礎的な知識・技術を身に付けます。
- ・農業経営（1年）：農業の置かれた現状を理解し、これからの農業経営を考える科目です。その中で、農業を経営の観点から学び、知識を深めます。
- ・総合実習（1～3年）：1年生では農業科と園芸科の2学科で基礎的な実習を体験的に学び、2年生の学科選択後からは、校内の圃場で、水稻や露地野菜の栽培をとおして栽培技術を実践的に学びます。
- ・アグリテクノロジー（2～3年）：野菜の栽培実験をとおして、環境条件がどのように野菜の生育に作用するのかを理解し、その調整技術を学びます。
- ・野菜（2～3年）：野菜栽培に関する基礎的な知識・技術から、日本の主要生産野菜の具体的な栽培方法まで掘り下げて学ぶことのできる科目です。
- ・作物（2～3年）：米、小麦、トウモロコシ等の穀類をはじめとする作物栽培に関する知識・技術を学ぶ科目です。
- ・農業機械（2年～3年）：エンジンやトラクタをはじめとした農業機械の構造や仕組みについて学びます。
- ・食品流通（2年～3年）：生産された農産物がどのようにして消費者の手元に届くのか、その過程を学びます。
- ・農業情報処理（2年～3年）：情報処理機器を農業に活用するための知識や、文書作成や表計算などのソフトウェアの使い方などを学びます。

4 資格取得

危険物取扱者、日本農業技術検定、農業機械検定、ビジネス文書実務検定、毒物・劇物取扱者、日商簿記など

5 卒業後の進路

1) 進学

①4年生大学・短期大学

中部大学、大同大学、南九州大学、人間環境大学、愛知学泉大学短期大学部、名古屋短期大学、

岡崎女子短期大学、静岡県立農林環境専門職大学 等

②各種学校

愛知県立農業大学校、国際医学技術専門学校、国際調理師専門学校、名古屋医療秘書福祉専門学校、中日美容専門学校、名古屋ビューティーアート専門学校、名古屋情報メディア専門学校 等

2) 就職

①農業関連企業

あいち中央農業協同組合、あいち三河農業協同組合、鋤柄農機、栄屋乳業、敷島製パン、伊藤ハム、ヤマナカ、ヤマサちくわ、アオキスーパー、ヤマコ、中甲、コメダ 等

②一般企業

アイシン・エイ・ダブリュ、アンデン、豊田自動織機、トヨタ車体、デンソーエアシステムズ、榊原精器、フタバ産業、名張製作所、ユタカ工業、エヌティー精密、東明工業、タケヒロ 等

6 科目「総合実習」での取り組み

総合実習では、校内の畑や水田を使って、水稻（お米）やさまざまな野菜を栽培します。そして、収穫した農産物は市場に出荷したり、販売することで、実習を通して栽培から流通までの仕組みを実践的に学びます。



【田植え実習】



【イネの収穫実習】



【野菜苗の定植】

7 農業クラブ活動

農業科では、プロジェクト活動の一環として、金俵マクワウリの普及を目指し、栽培方法の確立や、新たな活用方法としてシフォンケーキやジャムなどの商品開発に日々励んでいます。この取り組みは、全国農業高校生アクション大賞に取り上げられたり、学会でのポスター発表を行うなどの成果に繋がっています。

また、農業鑑定競技会と呼ばれる、農業に関する知識や技術を問う競技会では、全国大会で最優秀をはじめ優秀な成績を収めています。



【ホテルと共同開発したシフォンケーキ】



【日本植物学会で発表】



【全国農業高校生アクション大賞】